



ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第331号

皆さん、明けましておめでとうございます。 マヘル神父

最近、他の神父様にも勧められました、これは聖霊の働きだと実感しましたので「**観想祈祷(かんそうきとう)**」について、数回に渡って難しくないようになるべく簡単に書いてみたいと思います。

*観想が何であるかをよく把握するためには、もう少し掘り下げて、まず祈りの典型的な三つの形を見てみましょう。まず「**口頭祈祷(こうとうきとう)**」と言う祈りがあります。祈りの言葉は唱えられますか、又は歌われます。多くの場合は既製のものか、出会いのものですが、美文や靈感に富んだものも少なくありません。無論、その場で生まれた即席の口頭祈祷もあります。

次は黙想を伴った祈りがあります。黙想する人は、神ご自身とその不思議な御業について、頭の中で想像したり熟考したり、又繰り返し少し考えたりしています。頭は納得の行くまで掘り下げて、理解を求めています。要するに、黙想の時に頭が忙しくなりますが、口元は暇なのです。最後に観想祈祷があります。これは、神の御臨在を探し求めている祈りです。頭も口元も暇があって、純真な目で主を見つめている内に、無言の祈りが心から沸き上がって、主の御心との一致を願う祈りとなります。

*観想祈祷とは他でもなく、心の奥底に知覚さ

れ、愛された神の御臨在を自覚することです。

私達の方がその自覚を求めた上で信じながら探し当てた場合、修得した観想と言います。なお、主の方が体験としてこの自覚を与えて下さる場合、与えられた観想と言います。大人であり成熟したキリスト者である人は誰でも、当然この観想の祈りの段階に達する例の3段階を小・中・高・大学の教育の各段階に比べることが出来ます。

*口頭祈祷、黙想は祈りの高等学校に当たります。小中学校で覚えた「口頭祈祷」を怠ってはいないが、高校では主に命・生活・生き方と神の啓示について勉強します。

なお、祈りの大学はここで推薦する観想祈祷を開始する時点から始まります。しかし、ここでも小中高校に習った事をおろそかにして忘れは致しませんが、祈りの大学に入学した時から、やはり神の臨在に対する目覚めとみ霊に対しての心開きに重点を置きます。(さらに「高い」神秘的な経験をする人は大学博士課程に籍を置いた秀才でしょう!!)(2・3面に続く)

マヘル神父	1・2・3面
委員会報告	3面
正義と平和全国集会	4面
大人の日曜学校	5面
堅信式・レプトン会	6・7面
お知らせ・教会学校	8面

もう一度、観想祈禱と口頭祈禱を比べると、次のことが言えるでしょう。観想的に祈る人は、口にした言葉の内容を実際に、自分のところに臨在されていると言う自覚を求め、それを現実としてそれを把握し感知するように努力します。「天にましますわれらの父よ」と口にする、思わずこの言葉を離れて、自分の心の奥底に現在される「天のお父様」の事を「感知」します。み前に名残り惜しげに、いつまでもみ前に残りたいのです。その場で口にした一言二言は、目覚まし時計のベルのように、本人を居眠りから起こし、心の奥底におられる天のお父様の御臨在に正に目覚めさせてくれます。黙想する人は、次から次へと神が啓示された真理を熟考しながら進んで行きますが、観想家は、却って立ち止まってその心理を見つめながら、真理に内在する主、臨在される主を感知します。黙想する人をあたかも絵を書きますが、観想家は出来上がった絵を鑑賞して、一作品として見、画家が書き込んだビジョンの裏に秘められている現実を把握しようとし、概念や考えや言葉等のようなしるしを乗り越えて、天にいますお父様、愛する御独り子と、お父様御子の霊と言う(非物質的とは言え)まさに圧倒的な現実の次元に入ろうとします。この次元は、はっきりした概念の範囲内には収まらなくて、言いづくし難くて、頭の知力は到底それを把握し兼ねるのです。ところが愛の力は、この現実を識別できるのです。そうして聖霊もこの愛にゆだね、この神秘的な次元への明け渡しを力強く促しております。

＊『不可知の雲』の著者が言っている通り、主を愛するなら結構だが、主を考えるのは

無理。愛によって、主を得て、主を抱いてもよろしいが、人間の考えによってはそれが絶対にできない。主はやがてこの愛に答えて下さると(十字架の聖ヨハネ)次の言葉が当たります。「観想とは、他でもなく神ご自身が密かに、しかも優しく心に注ぎこまれて、愛の美霊の火をもって、抵抗しない人の心を燃え立たせて下さる」と言うことです。

＊観想祈禱は、言葉(口頭祈禱)や概念(黙想)越えて、言葉と概念が目指している現実のところにと到達させる祈りです。そういう意味において、観想祈禱こそ唯一の真の祈りだと言えるでしょう。さらに、およそすべての祈りにはどうしても唯一の真の祈りの味、つまり観想的な味がなくてはなりません。考えてみれば「口頭祈禱」はただの言葉の羅列であってもならないし、黙想はだだの思考の稽古であってもいけません。さて私達が目指しているのは、霊的な現実です。わが霊と言う現実ですが、しかし何よりも神の霊と言う現実なのです。だが観想祈禱に励む人は、聖霊の臨在を感知しながら、この聖霊に心を開き、聖霊のみ業とその賜物を期待し、聖霊がわが霊を清め、癒して下さるように望みます。こう言う意味において、観想祈禱を唯一の真の祈り、または霊的な祈りと言えるでしょう。

＊観想的な祈りがどうしてもペンテコステ(聖霊降臨)の祈りだと、また逆に、ペンテコステの祈りがどうしても観想的な祈りだといわれる理由は、今明らかになってい

ます。この祈りによって、慰め主としてイエス様から与えられる、私達の内に住んでおられるみ霊を感知したいからです。いつまでも私達と共におられすべての霊的入り用を備えて下さるからです。何はともあれ、主の山はあすこだというほかありません。自分の両足を使って巡礼の旅に出発しましょう。地図も案内人もいます。道すがら誰かに出会ったら必ず行先の道を尋ねなさい。でも、あなたを先へ先へと進ませ上へ上へと登らせるのは、主の息吹、聖霊だけです。おぼろげに垣間見たか、勤を働かせて解ったか、遥かなる頂に見えた主の

栄光に魅せられたあなたです。……念のため、たまにガイドブックを開くことをお忘れなく……。カルメル会の伝来の言葉使いですが、この祈りの第一段階を、修得した観想と言います。それは、神の助けをたよりに努力すれば、だれでもできる祈りだという意味です。アピラの聖テレジアはそれを「心の統一」の祈りと呼んでいます。フランスのボッセは「純心の祈り」と言う表現の普及に一役を演じたいのです。沈黙の祈りとか、安らぎの祈りとか、神の純粋な臨在の祈りとか、神を思う祈りとか心の祈りなのです。

委員会等報告

2014年12月分

12月度小教区委員会

1. 先月の行事報告

11月30日(日) 堅信式

13名の方が堅信を受けられました。

野田 宏人さん・城 龍彦さん・宗 真理
恵さん・坂本 素珠さん・川島 春菜さん
・田中 健三郎さん・川島 優也さん・
浅田 夏希さん・浅田 律子さん・清川
真由美さん・早田 みどりさん・池松 由
貴さん・アリアント上甲さん

2. これからの活動予定

12月24日(水) 降誕祭前夜祭

19時30分 ミサ後パーティー

12月25日(木) 降誕祭 10時

ミサ後パーティー

12月31日(水) ホーリーアワー

23時～

12月7日

1月1日(木) 0時 ミサ

元旦ミサ10時 ミサ中成人式お祝い
茶話会

3. 議題

①クリスマス準備

・今年は、エッセイの木をテーマに進めます。

・クリスマスパーティは例年通りを計画。ご飯、おでん、ぜんざいを準備

4. その他

①信徒会館の重複している書籍を整理(リセール)します。

②次回の小教区委員会1月11日(日)

③ひざまずき台を撤去するか

現状のままとします

(普段使っていないので椅子の片付

けなどの効率を考えてどうするか)

正義と平和全国集会 福岡大会報告 4回目

9月13日～15日、正義と平和全国大会、その中の講演。

「命を大切に作る社会」(パネル討論) 第2回

森山 イエスが、ご自身が貧しかった。イエス様ご自身が貧しかったというよりも、他者を富ませるために、貧しくなった。それは、人間への深い救いのためであった。奥田先生が、まさに言われたことですが、貧しい人のための教会になるため、実際に教会自身が貧しいことが必要です。

奥田 私は路上の人たちを通じて知っているが、路上の貧しさの中で、歪められるものもある。貧しいのは幸いという。しかし、実際に路上の人の前に「あなたは幸いですね」と言ったとしたら、「何を言ってんだ、はよアパートをくれ」と言われるだろう。

しかし聖書が言う貧しさは、質素だけでなくて自由のことをも言う。活動している人、求めている人、この人たちは貧しく、落ち着きがない。

イエスに従う道がある。愛は落ち着きのないものだ。私は3年前から被災地支援で、多くは日帰りで東京に出張を繰り返している。下の息子は小学生だが、彼は父親(私)に向かって「東京からいつ来るのか。」と言う。

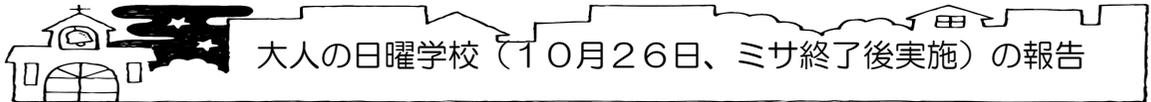
イエスの生涯は落ち着きがない。「人の子に枕するところはない」という。教会では、会いましょうと言う。しかし出かかず、来るのを待っている。チラシを撒いて、伝道集会しても誰も来ない。これは出会いではない。出会うのは、出かけて行って会うこと。そこに貧しさがある。

教皇様も書かれたことだが、まさに出掛けること。安住してはいけない。しかし私たちは、変わるのが怖い。出合えば変わらざるをえない。知らないとは言えなくなる。

私の講演会で、若い女性から質問があった。「会社の行き帰りで、ホームレスのおじさんが座っている。大丈夫ですかと声をかけたいが、声をかけられない。」さらに彼女は「弁当の1つでも渡してあげたい。でもできない。声をかけたら、そのまま家まで付いて来るのでは?」。私「そんなおじさんは居ない、大丈夫。」と言ったものだ。出会うと、その人が心に住み始める。橋の下で住み始めたおじさんを知れば、大雨が降ると流されてないだろうか?と心配になる。出会いで変化する。

それが、キリスト教の原動力になる。キリストは世界に行き、バプテスマを受けた。

私は、お金があるのか心配。ホームレス支援ではお金が必要。実は、ここに講演に来たのはお金が必要だからだ(笑)。年間3000万円。貧しいとは、落ち着きが無いこと。お金があっても心が貧しい。イエス様は、そんな落ち着きのない人生を送った。(続く)



信 仰 の 証 し 城 アマリア (高須・青葉地区)

私は、日本に18年前に来ましたが、子どものころにフィリピンで信仰を得ました。

郷里で日本人との結婚の意志を報告したところ、フィリピンの父が、日本人との結婚を許さなくて困ったのですが、日本人の主人が父親の元に来て、しっかりと話してくれました。

すでに、フィリピンに居たとき、日本でこれから住むようになる場所から一番近い教会は、水巻教会であることを知りました。これは、当時フィリピンで司牧をしていた西本神父に聞くことができたのです。

主人は仏教徒でしたが、日本に来てから私の信仰するキリスト教を、子ども2人といっしょに信仰することとなりました。子どもたちは、日曜学校に通い、今侍者をしています。

人生の半分を、日本で暮らしました。18年間の間、水巻教会の信徒の中に入ってよかったと思えました。また、子どもを育てるのは大変でしたが、夫婦の生活については日本人の義理の父母がサポートしてくれました。

ハーン神父が在任されていたときには、子どもたちは英語でしゃべることができ、色々とは相談できました。しかしハーン神父が大阪に去るとき、子どもたちは大変淋しく思ったようです。

教会の中で、私を一番可愛がってくれたのは柴田さんです。声をかけてくれる、やさしいおばちゃんと言えます。何かあれば「がんばり」と言ってくれ、また「困ってないか」と言ってくれます。

話は戻って、子ども2人が洗礼を受けたのですが、主人はクリスチャンではないのですが、義理の母が「子どもたちもクリスチャンになればいいんじゃないの」と言ってくれました。子どもたちは日曜学校に3年～6年居て、今は兄17歳、弟14歳(中2)、正彦と龍彦です。これも子どもが小さいころから、義理の母が声をかけてくれたおかげです。

信仰とは心の中の問題で、意味は分からないが、親から教えてもらったことを、例えば私が日曜日には一緒に教会に行ったことを、今度は子どもに伝えています。

フィリピンにおいて通った教会は田舎の教会で、むつかしいことより、掃除とかで奉仕したものです。クリスチャンになって、よかったと思っています。

(※) 子どもさんのうち、弟さん(龍彦さん)は、先日、堅信を受けられ、立派に代表の挨拶までされました。

堅信式行われる

11月30日(日)司教様によって13名の方々に堅信が授けられました。

皆さん喜びのうちに、若干の緊張感を持って臨みました。

ミサ後は、司教様を囲んで祝賀会が行われました。

次のような感想を頂きましたので、掲載します。

アリアント 上甲さん

11月30日、堅信の秘跡にあずかることができました。司教様、神父様、エリック神学生ありがとうございました。そして水巻教会信徒の皆様にも心から感謝です。私が「堅信組」にいて不思議に思われたでしょう。日本の教会は大変幸せです。神父様がいつも教会にいて毎週ミサにあずかることができるのですから！しかも司教様がいらして堅信式をおこなってくださるなんてとても恵まれているのです。こんな恵みにいつも感謝の心を持てるように努力しなければと思うのです。

教会で信徒の皆様との関わりの中でご迷惑をかけることもたくさんあると思います。どうか怒らないで「アリアントだからしかたないか・・・」とってください。



城 龍彦さん

堅信式に向けて半年間勉強をして堅信式のリハーサルをしたときには、ついに堅信の秘跡を受けることができる、と感極まりました。

今まで勉強したことはもちろん記憶していますが、リハーサルのときに言われた、「声を出す」ということですが、せっかく人生で一度きりの、そして自分が受け答えをする秘跡なのでしっかり声を出したいと強く思いました。

しかし私は風邪を引いていて本番までには治しておきたかったのですが間に合いませんでした。それでも今自分が出せるだけの声を出そうと意気込みました。今回堅信を受ける人たちは、堅信式の当日にも少し早く来て式の流れを確認しました。そしてミサが始まる少し前にあの代表としての挨拶を頼まれました。さすがにあの時間でいろいろ考えるのは無理だったので、予め用意されていた原稿をミサが始まるまでに覚えました。さて肝心の堅信式だったのでどうだったのでしょうか？個人的には自分では出せる声と思っていましたが、皆さんには聞こえましたか？受けた本人としては無事に式を終えることができたと思います。



ミサの最後に代表としての挨拶をしましたが、しっかりと司教様、神父様、神学生、多くの信者の皆さんに感謝の気持ちを伝えることができましたと思います。そして勉強のときに神学生に聴かされた話があります。「堅信式は卒業式ではない」という話ですが、そのとおりだと思います。これからも強く信じて生きたいと思います。



一日黙想会のお誘い

テーマ：「出向いて行く」ことを、教皇自身が宣言する。

～その視線の先には最初に福音を伝えられるべき、もっとも貧しい人々がいる～

「出て行ったことで事故に遭い、傷を負い、汚れた教会」のほうが、「閉じこもり、自分の安全地帯にしがみつく気楽さゆえに病んだ教会」よりも好きであると教皇は明言する。(教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』)

指導司祭：ベリオン神父 (行橋教会主任、パリ外国宣教会)

日時：2015年1月17日(土) 10:00～15:00

場所：カトリック水巻教会 費用：500円(弁当代)

プログラム	10:00～12:00	講話1	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:30	講話2	14:30～15:00	ミサ

皆さまのご参加をお待ちしています。

世話係：ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会 岩本ナセ(遠賀地区)

1月



おしらせ

★聖堂補修塗装工事説明会(11月)★

広報委員会の報告としては、次の URL に掲載しました。

<http://odyssey21.web.fc2.com/Kyoukai/expla.htm>

午前 10 時 元旦ミサ

★街頭募金★

今回も街頭募金は、参加者を募って行われました。場所は今年も水巻のグランモールで行いました。20人ぐらいの方が募金活動に参加してくれました。

多くの募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

25, 100 円

★深夜ミサ・元旦ミサ★

1 2月31日(水)午後11時～

ホーリーアワー(祈りの時間)

1月1日(木)午前0時 深夜ミサ

★黙想会の知らせ(レプトン会)★

今年も黙想会を行います。詳しくは7面を



教会学校のページ



11月23日

「エッセイの木 カレンダー」 (4名出席)
創世記 29章31～35節・38章12～14節
45章6～20節

出エジプト記 2章1～3節・15章20～21節
14章10～31節・20章1～17節

サムエル記 16章11～13節

実際に聖書を開いて皆で読みました。

12月7日

クリスマスカードの作成・堅信式写真整理 (6名出席)

12月14日

「エッセイの木 カレンダー」 (4名出席)

イザヤ 11章3～10節・マタイ 1章18～25節

ルカ 1章26～38節、46～56節・57～80節・2章1～7節

実際に聖書を開き、読み、分らない所はエリック神学生に説明してもらいました。

